

第51号

令和8年3月

馬橋青少年育成委員会

広
報
紙

まばし育成

発行
馬橋青少年
育成委員会



杉並学院高校合唱部



杉並学院高校菊華女声合唱団

音楽を楽しむ会

今年も大盛況！

たくさんの方にお越しいただきました。



杉並第六小学校
かしの木音楽アカデミー



杉並区役所音楽部リズムテイスト

「音楽を楽しむ会」は、地域の皆さんに音楽を楽しんでいただくことを目的に、馬橋青少年育成委員会が、毎年開催している音楽イベントです。



令和7年度・開催イベント報告

ラジオ体操



わたしは初めてラジオたいそうに行きました。
大人も子供もたくさん参加していて、びっくりしました。
友達といっしょにラジオたいそうができて楽しかったです。

(杉六小2年・三木 結愛)

毎朝、がんばって早起きするのがたいへんだったけど、友だちに会えたのがうれしかったです。ラジオ体操して、目がぱっちりさめました。毎日行って、かいきん賞もらったのもうれしかったです。

(杉六小5年・加藤 未久)

魚が食い付いた時に引っ掛けて、魚と引き合いになった経験がめちゃくちゃ楽しかったです！

毎年参加していますが、初めて釣ることができて嬉しかったです。次回もチャンピオンを目指します。

(杉六小4年・永井 日和)

大きい魚を釣れそうだったけど、針ごと持って行かれて悔しかったです。でも泳いでいる魚を見られて、楽しかったです。また行きたいです。来年参加した時は、大きい魚を釣って入賞したいです。

(杉六小1年・赤池 舞優)

つり大会



バスハイキング



宇宙や科学など途中で子供が飽きるのではと心配していましたがチャレンジしたいものが多かったです。時間が足りないくらいでした。

運転しなくていい旅は楽しかったです。(堀之内小3年・逸見 海周)

とても面白かったです。宇宙が好きなので、行ってみたくかったです。本物のロケットや模型がたくさんあり、ゲームもあって友達と行けて楽しかったです。おみやげたくさん買いました。

(堀之内小3年・武田 晴輝)

音楽を楽しむ会



みんな声がきれいだなあと思いました。とくにアンパンマンのお兄さんたちがとてもおもしろかったです。

いろんながっきがあってたくさんの音があるんだなあと思いました。知っているきょくがたくさんあったので楽しかったです。

(杉六小2年・八木 要)

初めて聴いたときは、全然弾けず形にもなってなかったけど、2回目は少し上手になってとても感動しました。

(杉六小4年保護者・飯島 万紀子)

初めてでもスタッフの方が教えてくださり少しの時間で基礎ができたので嬉しかったです。

(阿佐ヶ谷中 2年・青木 隼颯)

毎年参加しているので、かなり上達しました。また、区民スケート教室にも参加するようになりスケートが身近なスポーツになりました。

(堀之内小4年・上村 始)

スケートを楽しむ会



他にもイベント
盛りだくさん
でした！



石鹸デコパージュ

阿佐谷地域区民センター子どもフェスティバルに協働参画して楽しみました。



どんど焼き

杉並第六小学校校庭で開催。正月行事です。

令和7年度活動報告

4月21日	総会	11月11日	環境改善パトロール
6月3日	環境改善パトロール	11月17日	第1回全体会
6月28日	委員研修会	11月22日	音楽を楽しむ会
7月13日	広報紙「まばし育成」第50号発行	12月2日	環境改善パトロール
7/21~27日	ラジオ体操	1月8日	馬橋どんどやき
7月29日	環境改善パトロール	1月17日	スケートを楽しむ会
9月20日	つり大会	1月27日	委員懇談会
9月20日	環境改善パトロール	2月28日	第2回常任委員会
9月28日	石鹸デコパージュ	3月7日	環境改善パトロール
10月18日	親子バスハイキング	3月8日	広報紙「まばし育成」第51号発行
11月4日	第1回常任委員会	3月23日	第2回全体会



吃音ってなーに？



吃音とは「あああのね」と言葉を繰り返してしまったり、「あーのね」と言葉が伸びてしまったり、「・・・あのね」と言葉が詰まってしまったり、どもる話し方のことをいいます。吃音の原因について世界中で色々な研究がされてきましたが、その原因は解明されていません。100人に1人の割合で吃音症の方がいると言われています。

吃音の話し方を聞くと「苦しうだな。」「緊張しているのかな。」と思うかもしれませんが。しかし、吃音症の方にとっては、この話し方が自然で一番楽な話し方なんです。真似されたり、話し方について質問されると、吃音を隠そうと話し方を工夫してしまい、言葉で出てこなくなってしまうこともあります。周囲の方が「いっぱいどもってもいいんだ。」と理解してくれることで、安心してどもりながら話すことができ、吃音の症状も落ち着いていきます。「話し方」ではなく、「話している内容」に目を向けてくれると嬉しいです。

Q1 吃音がある人にどう接すればいいの？

話し方で笑われたり、真似されたりすると悲しくなってしまいます。吃音のある話し方がその人、本来の話し方なので、「落ち着いて。」「焦らないで。」という声かけや言葉の先取りはせず、そのままお話を聞いてあげてください。言葉がすぐに出てこない時は待つてあげてください。

Q2 吃音はいつか治るの？

吃音は発症しても8割は自然消滅すると言われています。そのため、何もしなくて大丈夫と助言されることもあります。原因不明のため、絶対に治るとい保証はありません。ご心配でしたら、専門機関にご相談することをおすすめします。また、小学校には「ことばの教室」、中高生では「交流の集い」が各地で開催されています。

Q3 どうも話せていることもあるけど、どうしてなの？

その原因も分かっていません。すらすら話せる日もあれば、すごくどもってしまう日もあります。この現象を「波がある」といいます。誰かと一緒に音読したり、歌を歌うときは吃音が出にくいと言われてはいますが、なぜなのかその理由もはっきり分かっていません。

参考文献：堅田利明著「こどもの吃音症状を悪化させないためにできること」「キラキラどもる子どものものがたり」（海風社）

あとがき

今年度も皆さまのご協力のおかげで、様々な活動を無事に行うことができました。行事や取り組みを通して、改めて人と人とのつながりの大切さを感じる一年となりました。少しでも地域の様子が伝わり、楽しんでご覧いただけましたら幸いです。今後も皆さまに親しんでいただける広報紙を作成してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



【広報担当】 市村敦子・加藤径子・小野久美子・小出詩織・庄田夕・三木絵美
【発行者】 馬橋青少年育成委員会 会長 市村敦子 〒166-0004 杉並区阿佐谷南2-9-1